

自衛隊神奈川地方協力本部

ふるさと港北ふれあいまつりで「はまにゃん」大活躍！



各キャラクターとダンスを踊る「はまにゃん」

横浜出張所は、「今後も、地域に密着したイベントに積極的に参加し自衛隊の活動に対する理解を深めていきたい」としている。

神奈川地方協力本部横浜出張所（所長 赤塚3陸尉）は、10月17日（土）、新横浜駅前公園（横浜市港北区）で行われた「2015ふるさと港北ふれあいまつり」において、自衛隊の災害派遣活動パネルなどの展示をし、自衛隊の活動をPRした。

当日は雨が降るあいにくの天気であったが、足元の悪い中多くの市民が自衛隊の広報ブースに訪れた。今年9月の豪雨による鬼怒川決壊における自衛隊の災害派遣活動パネルを見た市民からは、「災害はいつどこで起こるか分からないですね」「災害現場での活動は大変でしょうが、お体にお気をつけて。」など、多くの温かい言葉がかけられた。また、神奈川地本のマスケット「はまにゃん」も祭りに初参加し、ステージで得意のダンスを披露するとともに、同地本の新しいマスケット名の公募も実施し、多くの方からかわいい名前が寄せられるなど大盛況に終わった。



神奈川地本新キャラクターの名前応募中「お名前、なにがいいかな？」



PRブースは大盛況！

伊勢原観光道灌まつりで自衛隊をPR



展示品説明

神奈川地方協力本部平塚地域事務所（所長 平1陸尉）は、10月17日（土）、第48回伊勢原観光道灌まつりに参加した。同まつりには、約30万人の来場（主催者発表）があり、その中で自衛隊広報ブースも、沢山の来場者で賑わった。

当日は、平塚募集相談員会会長をはじめ、伊勢原地域に在住する多数の募集相談員が、所員の激励や、募集広報の支援に駆けつけた。ブースでは、自衛隊の災害派遣活動状況のパネル展示を行い、海上自衛隊の制服及び迷彩服の試着コーナーでは長蛇の列が出来るほどの人気を集め、凛々しい制服姿に憧れるたくさんの方々が記念のひとコマをカメラに収めていた。

平塚地域事務所は、「今後も、地域のお祭り・イベントに積極的に参加し、地域の自衛隊を代表する事務所として、積極的な広報活動を行い、防衛基盤の拡充に努める」としている。



伊勢原市長ブース訪問



迷彩服試着

美・緑なかいフェスティバル



美・緑なかいフェスティバルの様子

神奈川地方協力本部小田原地域事務所（所長 林1陸尉）は、10月18日（日）、美・緑なかいフェスティバル（中井町）に、自衛官募集相談員及び地元自衛隊協力会の支援を受けブースを展開し、募集広報活動を実施した。

同イベントは、毎年1万人を超える来場者が訪れ（主催者発表）、地元住民のみならず、近隣の市町からも中井町の魅力を堪能できるものとなっている。同事務所も平成25年から参加しており、今年度は、第1高射特科大隊の協力を得て装備品（炊事車及び31/2t大型トラック）展示を実施した。

募集対象者の来訪は少なかったが、その保護者程の年齢の方には、自衛官募集について興味を引き理解を深めることができた。また、多数の親子にも広報することができ、中井町一帯における募集基盤の強化が図れた。

小田原地域事務所は、「今後も、地元の方々との協力により、地域に密着した広報を実施して自衛官募集を推進していく」としている。